

平成 28 年度 施策評価表

施策(章)	第 6 章『環境・自然』		
まちづくりの目標	豊かな自然と共生する持続的発展可能なまちをめざします		
分野別計画・指針	マチごとエコタウン所沢構想、第2期所沢市環境基本計画(改訂版)、所沢市地球温暖化対策実行計画(改訂版)、所沢市みどりの基本計画、公共施設緑化ガイドライン みどり つなぐまち 所沢、所沢市一般廃棄物処理基本計画、第三次不老川生活排水対策推進計画		
予算額	平成28年度当初予算	98,950 百万円中	10,417 百万円 構成率 10.5 %
基本構想で掲げたまちづくりの目標の実現に向けた主な方針			
◆ 地球温暖化対策の推進			
◆ みどりや水辺の自然環境の保全と都市におけるみどりの創出			
◆ 循環型社会形成をめざしたごみの減量と資源化の推進			
基本構想で掲げた《市の課題・方向性》への取り組み状況に対する振り返り			
<p>○豊かな自然と共生する持続的発展可能なまちを目指して、地域環境の問題から地球温暖化問題まで様々な課題に対して、市民の理解と協力のもと、取り組みを行った。</p> <p>○マチごとエコタウン所沢構想に基づき、市民・事業者への創エネ・省エネ機器の導入支援を行うとともに、埼玉エコタウンプロジェクト(平成27年6月採択、重点取組街区：松が丘)関係事業やマチごとエコタウン推進基金を活用した道路照明灯8,600灯の一括LED化事業等を実施し、市域における温室効果ガス排出量の低減に努め、地球温暖化対策の推進を図った。</p> <p>○みどりの保全や創出のため、里山保全地域や特別緑地保全地区などの地域制緑地の指定を行い、まとまりのある一団のみどりを保全するとともに、街中の緑化を進めるため、公共施設におけるみどりの木陰づくり事業を行った。また、公園事業では、所沢カルチャーパークの用地取得及び施設整備を推進した。</p> <p>○大気汚染、水質汚濁、土壌汚染等の防止を目的に、発生源となりうる事業所に対する監視、指導を行い、環境保全に努めた。</p> <p>○循環型社会形成を目指したごみの減量と資源化を目的に、一般廃棄物処理基本計画に基づき、「食品ロスゼロのまち促進事業」の実施など新たな事業展開を行った。また、(仮称)第2一般廃棄物最終処分場の建設に向けて、地権者や周辺住民等の理解・協力を促し、その意見の反映を図るため、住民説明会を開催した。</p> <p>○多様な生物が生息する多自然河川づくりを推進するとともに、浸水対策のための河川・水路整備を推進した。</p> <p>○「エコロまつり」、「エコファミリー大賞」、「ライトダウン」等のイベントを通じて、資源やエネルギーに依存する生活を見直すきっかけづくりに努めた。</p>			
基本構想で掲げた《まちづくりの目標の実現に向けた主な方針》の実行にあたって、特に力を入れていくこと。			
<p>○マチごとエコタウン所沢構想に基づき、「エネルギー」「みどり」「資源循環」の取り組みを積極的に推進し、構想が掲げる『未来の子どもたちに残したいマチ』の実現を目指す。</p> <p>○エネルギープロジェクトを推進するため、フロード式太陽光発電設備の建設やエネルギー効率化に係る実証実験を実施するとともに、創エネ・省エネ機器の更なる普及を図るため、市民・事業者への導入補助やマチエコ応援隊の活動支援を行う。</p> <p>○みどりを保全するため、自然環境調査を行うとともに、里山保全地域などの地域制緑地の指定を引き続き進める。また、所沢カルチャーパークや街区公園の整備を引き続き進める。</p> <p>○公共用水域等汚濁状況の常時監視の実施及び河川浄化団体補助金交付事業の実施により、水辺の自然環境の保全に努める。</p> <p>○循環型社会の形成に向け、古着・古布の集積所収集や雑がみの更なる分別の徹底等により、ごみの減量と資源化を推進するとともに、食品ロスゼロに向けた協力店や「食べきりタイム」などの啓発事業を実施する。また、安定的なごみ処理体制の維持を図るため、焼却処理施設等の更新や新たな最終処分場計画の推進を図る。</p> <p>○河川・水路については、引き続き治水対策を進めるとともに、「ふるさとの川再生事業」を進める。</p>			
評価日	H28.7.25	記入者職氏名	環境クリーン部次長 大澤 稔

指標の達成状況	節	指標	単位	〈H25〉 現状値	H27年度	H27年度	H28年度	将来目標 (H30)
					実績	目標値	目標値	
指標の達成状況	第1節 環境との共生	環境基本計画に掲げた目標の達成率	%	59.6 (H24)	調査集計中	→	→	100
		市域における温室効果ガス排出量の削減率	%	0.89	調査集計中	1.62	2.35	3.80
	第2節 全・公園の整備	新たに確保するみどりの面積	ha	28.34	45.38	→	→	42.00
		都市公園の整備面積	ha	135.0	138.8	138.5	141.6	147.4
		みどりのパートナー制度の登録者数	人	682	1,230	→	→	1,000
	第3節 環境保全	大気環境にかかる環境基準の達成率	%	80.0	85	→	→	100
		水環境にかかる環境管理目標の達成率	%	97.0	100	→	→	100
	第4節 廃棄物の減量・資源の循環	市民1人当たりのごみ排出量	g/人・日	618	594	595	589	578
		事業系ごみの排出量	トン/日	56	51	→	→	→
		総ごみ量に対するリサイクル率	%	26.8	29	27.6	28.1	29.1
第5節 健全な水資源の保全	雨水流出抑制指導による施設の設置割合	%	100	83	100	100	100	
	水辺のサポーター・ふるさとの川再生団体数	団体	6	8.0	→	→	8	

第1節	環境との共生	一人ひとりの環境に対する意識が高まり、人と環境が共生するまち			
基本方針	6-1-1 地球温暖化対策の推進				
	6-1-2 生物多様性の確保				
	6-1-3 環境に配慮した都市空間の整備				
	6-1-4 環境施策への参加と協働の推進				
関係所属	管財課・環境政策課・みどり自然課・生活環境課・東部クリーンセンター管理課・給水管理課				
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		615人	28.9%	28位	5位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)					
<p>○市民生活から排出される温室効果ガスの削減のため、ライトダウンキャンペーンやエコファミリー大賞などの啓発事業を実施するとともに、市民や事業者などへの太陽光発電等の導入補助事業を実施し、創エネ・省エネ機器の普及促進を図った。</p> <p>○平成27年6月に採択された埼玉エコタウンプロジェクトの重点実施街区である松が丘地区において、マチエコ応援隊を結成し、創エネ・省エネ機器等の普及に努めるとともに、関連事業として公共施設(吾妻まちづくりセンター・吾妻保育園)への蓄電池の設置や公園灯35灯のLED化を図った。</p> <p>○マチごとエコタウン推進基金を活用して道路照明灯8,600灯の一括LED化等を推進し、公共施設の温暖化対策を推進した。</p> <p>○平成26年3月に設置したメガソーラー所沢において、1,299MWhの再生可能エネルギーを創出した。</p> <p>○再生可能エネルギーの利用増進を図るため、市立小中学校14校において、屋根貸し制度を利用して発電能力461kWを有する太陽光発電設備を整備した。(全27校、全発電能力932kW)</p> <p>○市民レベルでできる温暖化対策を中心に、環境施策の効果的な推進方策について中間答申をいただいた。(環境審議会の開催)</p> <p>○次世代を担う子どもたちへの環境学習の観点から、地球にやさしい学校大賞やマチエコ大使による出前講座を実施するなど、環境配慮意識の定着を図った。</p>					
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)					
<p>○マチごとエコタウン所沢構想に基づき、公共施設への太陽光・小水力発電設備の導入事業や市民・事業者を連携したマチエコ応援隊への活動支援のほか、本構想の普及を目的とした動画コンテストを開催するなど、エネルギープロジェクトに係る関係事業を積極的に推進する。</p> <p>○埼玉エコタウンプロジェクト関連事業として、松が丘調整池にフロート式太陽光発電設備を建設するとともに、周辺公共施設に昨年度設置した蓄電池を用いて効果的な運用方法等の実証実験を行う。</p> <p>○足元からの地球温暖化対策を進めるため、所沢市環境審議会における最終答申をもとに、市民レベルの環境配慮行動を生活様ごとに整理し、広く市民に周知するとともに、効果的な事業の立案を行う。</p>					
特に力を入れる事務事業		埼玉エコタウンプロジェクト推進事業	マチごとエコタウン所沢構想推進事業	温暖化対策事業	
評価日	H28.7.25	記入者職氏名	環境クリーン部次長 大澤 稔、みどり自然担当参事 関谷 佳和、東部クリーンセンター所長 廣川 澄芳、上下水道部 技術担当参事 鈴木 久夫		

第2節	みどりの保全・公園の整備	一人ひとりの参加によってみどりや公園が守り育てられるまち			
基本方針	6-2-1 自然豊かなみどりの保全				
	6-2-2 市街地のみどりの創出				
	6-2-3 親しみのある公園の整備				
	6-2-4 市民参加によるみどりを支える仕組みの充実				
関係所属	みどり自然課・公園課				
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		773人	36.4%	13位	1位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)					
<p>○みどりの保全を図るため、「三ヶ島二丁目里山保全地域7.56ha」を指定するとともに、「北中ふるさとのみどりの景観地」の用地5,292㎡を取得した。また、街中のみどりを創出するため、保育園2園において「みどりの木陰づくり事業」を行った。</p> <p>○公園については、所沢カルチャーパークの整備用地として、新たに10,429㎡を取得し施設整備工事を実施した。</p> <p>○みどりのパートナー活動を推進するため、登録者の増加(1,230人)を働きかけ、情報の提供や支援の充実を図るとともに「みどりのパートナー育成講座」を実施した。</p>					
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)					
<p>○みどりの保全では、里山保全地域などの地域制緑地の指定を進め、特に保全が必要な緑地については土地の取得を行う。</p> <p>○みどりの創出では、埼玉県「彩の国みどりのサポーターズクラブ」制度を活用し、公共施設の緑化を推進する。</p> <p>○みどりのパートナー活動を推進するため、支援制度の充実を図り講座の開催や緑地管理のアドバイスなどを行っていく。</p> <p>○公園については、所沢カルチャーパーク用地の買収を進めるとともに、キャンプ場等の施設整備を実施する。また、街区公園については、計画地の用地測量を実施し自治会と協議を行い公園整備に向けて手続きを進める。</p>					
特に力を入れる事務事業		里山保全地域等指定整備事業	みどりのパートナー活動推進事業	所沢カルチャーパーク築造事業	
評価日	H28.7.25	記入者職氏名	環境クリーン部みどり自然担当参事 関谷 佳和 建設部次長 長倉 精一郎		

第3節	環境保全	地域環境の保全と改善を推進し、環境への負荷が少ないまち			
基本方針	6-3-1 大気環境の保全と改善				
	6-3-2 水・土壌環境の保全と改善				
	6-3-3 環境リスク対策の推進				
	6-3-4 生活環境の向上				
関係所属	市民課・環境対策課・生活環境課				
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		627人	29.5%	25位	4位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)					
<p>○大気環境の常時監視を行うとともに、発生源となりうる事業所への立入検査や指導を行った。</p> <p>○河川や地下水の水質汚濁の状況を監視、測定するとともに、発生源となりうる事業所への立入検査や指導を行った。</p> <p>○土壌汚染対策や土砂のたい積規制を行った。</p> <p>○騒音・振動・悪臭等の公害苦情相談を実施し、早期解決に努めた。</p> <p>○市有施設におけるPCB含有廃棄物の適正処理を行うための対処方針を策定した。</p> <p>○東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質による環境へのリスクに対応するため、監視・相談業務を行った。</p>					
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)					
<p>○大気汚染、水質汚濁、土壌汚染等の未然防止に努め、更なる生活環境の保全と改善を図っていく。</p> <p>○アスベストの飛散防止を徹底するため、建築物の解体作業時の監視、指導に努める。</p> <p>○騒音・振動・悪臭等の公害苦情相談を実施し、早期解決に努める。</p> <p>○「市が保有するPCB使用製品及びPCB廃棄物の確認及び適切な管理等に係る対処方針」に基づき、適正処理に向けた対応を図っていく。</p>					
特に力を入れる事務事業		大気汚染状況の常時監視事業	水質規制対象事業所検査事業	公害等苦情相談事業	
評価日	H28.7.25	記入者職氏名	環境クリーン部次長 大澤 稔		

第4節	廃棄物の減量・資源の循環	一人ひとりがごみの減量と資源化に取り組み、循環型社会が形成されるまち		
基本方針	6-4-1 ごみの減量と資源化の推進			
	6-4-2 環境に配慮したごみ処理体制の推進			
	6-4-3 し尿の適正処理の維持			
	6-4-4 不法投棄防止対策の充実			
関係所属	資源循環推進課・東部クリーンセンター・西部クリーンセンター			

施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)	要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
	709人	33.4%	20位	3位

節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)

○廃棄物減量等推進審議会答申を踏まえ、所沢市一般廃棄物処理基本計画を改訂した。(平成27年10月)
 ○「食品ロスゼロのまち協力店登録制度」を開始し、「食べきりタイム」等のより一層の周知・啓発を図ったことに加え、雑がみ回収率向上を推進していくために、雑がみ保管袋の試験的な配布を実施し、現在効果検証している。
 ○「燃やせるごみ」に約13%含まれていた「古着・古布」の再使用・資源化を図るため、古着・古布モデル回収事業を実施し、効果検証の結果、平成28年4月より古着・古布の集積所収集を開始した。
 ○エコロまつり【3days】・出張もつたいない市・エコロのもつたいない市【2days】・東西クリーンセンターのもつたいない市の実施や、リサイクルふれあい館における3Rに関する講習会、小学生を対象とした夏休み講座等を開催し、周知・啓発を図った。
 ○西部クリーンセンター基幹的設備改良(長寿命化)工事を実施し、A系炉機器更新・受入施設の整備を行った。
 ○東部クリーンセンターにおいて、延命化工事(平成29年度～32年度)に係る長寿命化計画を策定するとともに、長期包括管理運営委託に係る基本方針を策定した。

今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)

○更なるごみの減量と資源化を推進するため、報償金の増額等による集団資源回収の推進を図る。
 ○食品ロスゼロのまち協力店の拡大等を図り、積極的に食品ロスの削減に取り組む。
 ○(仮称)第2一般廃棄物最終処分場基本計画を策定し、最終処分場の建設・整備の推進を図る。
 ○西部クリーンセンターに太陽光発電設備及び蓄電池を整備し、環境に配慮したごみ処理体制の一助とする。
 ○最終年度となる西部クリーンセンター基幹的設備改良(長寿命化)工事の完成に向けて関係工事を確実に施工し、安全で効率的なごみ処理施設の運営を確保する。
 ○東部クリーンセンター長寿命化計画に基づき、工事発注仕様書及び長期包括管理運営委託に係る要求水準書を策定し、本事業の推進を図る。

特に力を入れる事務事業	集団資源回収報償金交付事業	(仮称)第2一般廃棄物最終処分場整備事業	西部クリーンセンター基幹的設備改良(長寿命化)事業
評価日	H28.7.25	記入者職氏名	環境クリーン部次長 大澤 稔、東部クリーンセンター所長 廣川 澄芳、西部クリーンセンター所長 葛野 芳明

第5節	健全な水資源の保全<<河川・水路>>	自然と都市に適した水環境があるまち		
-----	--------------------	-------------------	--	--

基本方針	6-5-1 河川流域の保全			
	6-5-2 総合的治水対策の強化			
	6-5-3 河川・水路機能の充実			

関係所属	みどり自然課、河川課			
------	------------	--	--	--

施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)	要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
	768人	36.1%	14位	2位

節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)

○浸水被害を防止するため、糎谷地内、北野一丁目地内、南永井地内の水路の護岸整備・改修工事を行った。
 ○開発事業等による雨水流出を抑えるため、開発事業者に対して雨水抑制施設設置の指導を行った。平成27年度においては、114件の申請全てに対し行政指導を行い、95件の浸透施設が設置された。
 ○河川・水路の美化活動支援を行う「水辺のサポーター事業」に新たに1団体の登録を行った。

今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)

○榊井戸川第一調整池の用地取得を進め、調節池機能の安定確保を図るとともに、河川、水路の改修整備を進め、浸水被害を防止する。
 ○開発事業等による雨水流出を抑制し、地下水の涵養を図るため、事業者に対する雨水浸透施設の設置に関する行政指導を強化し、目標指標を達成できるよう努める。
 ○河川・水路機能を一層充実させるため、広報等により「水辺のサポーター事業」の周知を図る。

特に力を入れる事務事業	榊井戸川親水広場用地購入事業	河川・水路改修整備事業	
評価日	H28.7.25	記入者職氏名	環境クリーン部みどり自然担当参事 関谷 佳和 建設部次長 長倉 精一郎